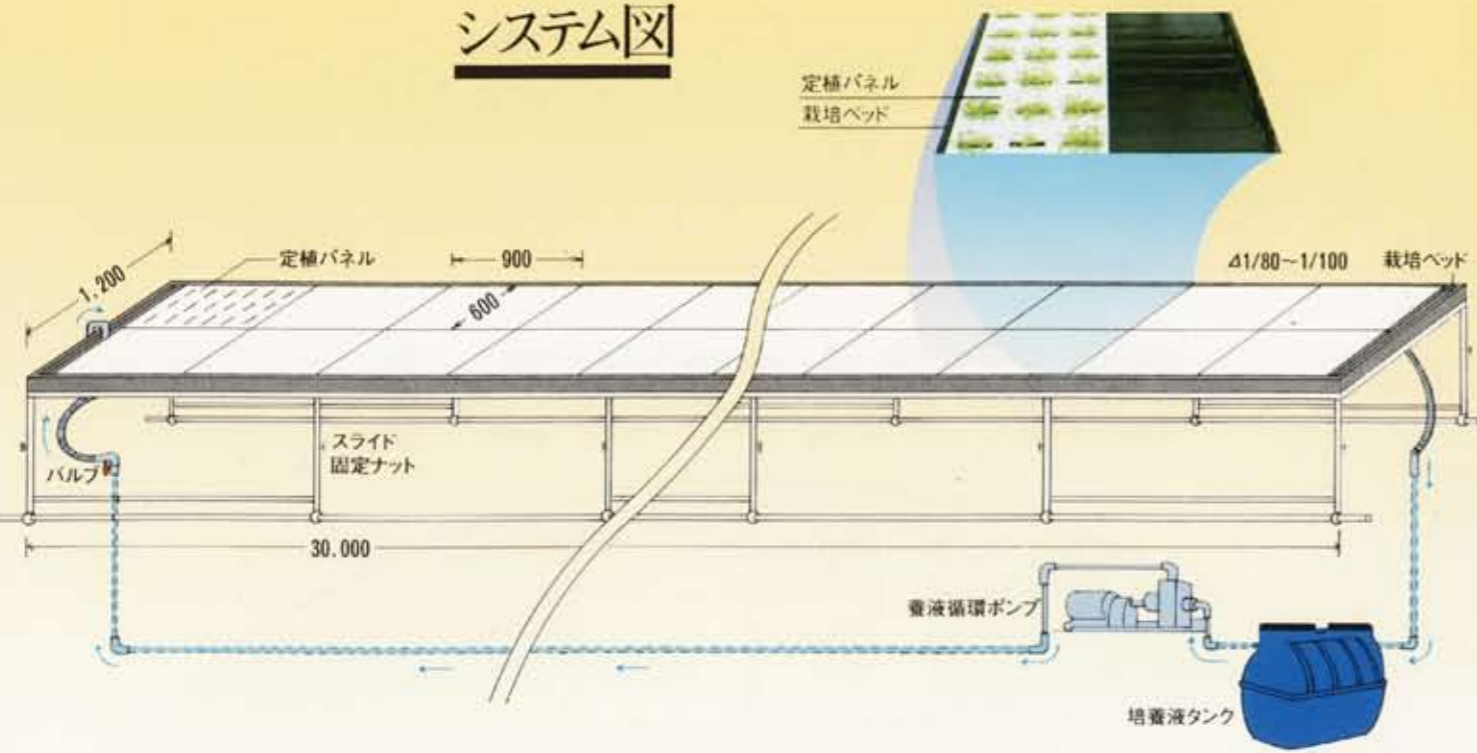


# システム図



## 専用資材

- 栽培ベッド
- 育苗箱・ウレタンマット
- 定植パネル
- 配管資材
- 定植パネル
- 養液循環ポンプ
- 培養液タンク
- 養液昇温器
- 肥料
- 養液コントローラ
- 生育コントローラ (オプション)
- 環境たきのづ (オプション)

株式会社 **M式水耕研究所**  
 〒480-1414 愛知県豊田市中央1丁目3  
 TEL:0567-62-2401  
 FAX:0567-62-0987  
 ホームページアドレス: <http://www.gfm.co.jp/> Eメールアドレス: [info@gfm.co.jp](mailto:info@gfm.co.jp)



# GFMプラント しき

**M式水耕研究所**

# 一挙に増益。



# 株から



# 束単位の販売へ。

## GFMプラント

# しき

### 湛液方式

水耕栽培の専門メーカーが  
自信をもってお奨めするプラントです



栽培ベッドの深溝に養液を溜め 野菜の根が存分に肥料を吸収できる  
生産性の高い水耕プラントです  
水温もきわめて安定していて 作物の一本一本の揃いもよく  
生育のスピードも抜群 色あがりもじつに鮮やかです  
収穫時は定植パネルから抜き取るだけなので  
作業の手間は土耕の5分の1で  
済みます この方式をわが国ではじめて開発した当社は  
以来20年余数かずの貴重なデータとともに  
他に類をみない独自の  
ノウハウを需要家に提供しています

### 流下方式

農業経験のない人でも  
高品質な作物が手軽に収穫できます



栽培ベッドの勾配に導かれて流れる水には多量の酸素がふくまれ  
作物の根を張る理想の条件をととのえています  
水をたえまなく循環させるため  
水の絶対量が少なくすむ省エネルギータイプです  
苗づくりから定植まで  
養液管理はすべて自動肥料混入機が一手に引き受けますので  
実の引き締まった野菜が栽培できます  
作物の生育条件を知りつくす専門メーカーだからできた  
きめの細かいオリジナルな開発  
またとない効率の高いプラントです



生育スピード抜群の《湛液方式》  
高品質な野菜の収穫を約束する《流下方式》  
この二つのメリットをあわせもつ  
理想の水耕プラント「しき」  
勾配調整の新技术が、健康な作物を育てます

いま、緑の工場1000軒、100万㎡。  
土耕から水耕へ、まったく新しい農法を  
めざしてスタートした水耕プラントの草  
分け、〈M式〉。1963年以来めざま  
しい普及をつづけ、栽培農家は1000  
軒、100万㎡をこえました。“美しい  
感性を大切に、植物と語りながら、  
楽しくつくりたい”というのが、〈緑の  
工場〉づくりを進めるM式水耕研究所の  
願いです。農家の自立をめざし、企業規  
模の拡大を志向されるかたに、21世紀  
の理想の農業経営をお約束いたします。

生野菜の新鮮な魅力をつくる「しき」。  
わが国で水耕栽培をはじめて提唱した専  
業メーカーの当社は、いまま類似の他  
のメーカーとは大きく一線を画して、つぎ  
つぎと新技术を開発し、水耕栽培のある  
べき姿を明確に提案しつづけています。  
「しき」はベッドの勾配を調節して水の  
流れを変えることにより、ほうれん草や  
小松菜、菊菜などが若く新鮮うちに収  
穫でき、生で食べるサラダ用野菜として  
束にして販売できます。もちろん球根類  
など、さまざまな野菜栽培も可能です。

農家の未来を拓く、工場生産システム。  
水耕プラントのバイオニア、M式水耕研  
究所では、生産性の向上をめざし、栽培  
技術とエレクトロニクス技術を応用して  
独自のコンピュータ・システムを開発し  
ました。多棟ハウスの植物の生育状態を  
正確に把握し、いながらにして環境のコン  
トロールができるほか、オペレーショ  
ンセンターと結んで、新しい経営法、病  
気の対処、市場動向の情報の把握、分析  
などの管理ができるなど、あらゆる栽培  
システムに幅広くご活用いただけます。



1 多品種栽培に、画期的な成果を発揮。  
栽培品目の多様化を進めることは、水耕  
栽培の重要な課題です。湛液方式と流下  
方式のメリットをあわせもつ「しき」は、  
作物の固定の仕方に特徴があって、根の  
安定度が高く、花の球根や切花の栽培、  
観葉植物の苗の育生などにも最適です。



2 ベッドの勾配の調整が自由自在です。  
作物の個性にあわせて最良の条件で栽培  
するのが、水耕栽培の理想です。台の角  
度を変え、勾配を調整することにより、  
「しき」がこの夢をはじめて可能にしま  
した。水流を速くしたり、ゆるくしたり  
して、さまざまな作物が栽培できます。



3 移動ベッドの採用で面積が40%増。  
「しき」のベンチには車輪がついていま  
す。ベッドを必要に応じて、いつでも簡  
単に移動させるためです。この工夫によ  
って、通路なども効率よく利用でき、約  
30~40%利用面積がふえました。配  
管も少なく、組立もきわめて簡単です。